



地域を見つめる経済情報誌

長野しんきん 北信地区経済動向



「すかい」(sky: 空) は、北信地区経済の空模様を展望しながら、経済面からとらえた身近な情報をおとどけます。

月例調査レポート



信濃町 野尻湖 ナウマンゾウ のモニュメント

例年になく静かな湖畔の風景に、ナウマンゾウの親子が溶け込んでいます。野尻湖に活気をと、地元の方々によって製作された鉄製モニュメントは現在34体。高さ70センチほどの象が除雪車にひかれたりしないよう、冬場は回収しているそうです。熱い想いが込められたモニュメントを見ていると、湖上で流行のSUP(手漕ぎサーフボード)をしている若者が、太古の野尻湖人に見えてきてしまうから不思議です。

- 長野しんきん月例調査レポート 2
- 企業アンケート 新型コロナウイルス感染症 ③ 6
- インタビュー 変革期の経営ビジョン 8
- 北信濃 江戸時代の風景 (73) 伊能忠敬、青柳宿から稲荷山宿へ 10

「すかい」は長野信用金庫のホームページでカラーにてご覧いただけます [長野信用金庫について](#)



概況 全産業

生産は5カ月連続の低下 前年同月比は11カ月連続の低下

◇2020年6月の長野県鉱工業指数

(速報：季節調整済指数)

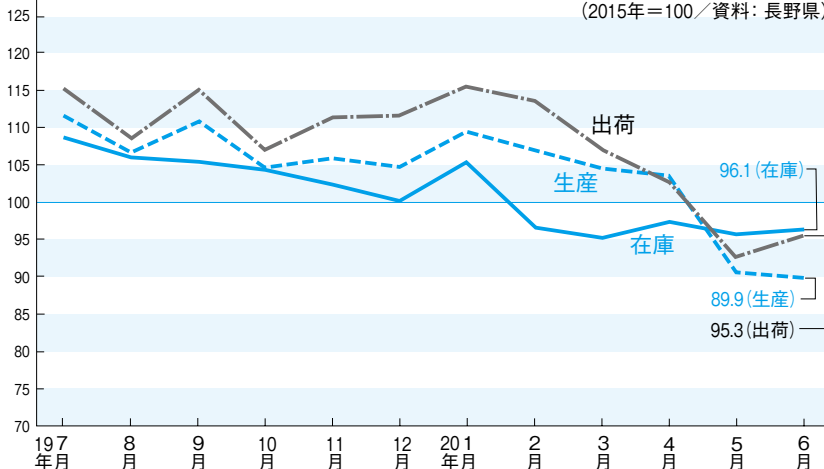
生産は89.9(前月比▲0.4%)で5カ月連続の低下、出荷は95.3(同+3.0%)で5カ月ぶりの上昇、在庫は96.1(同+0.3%)で2カ月ぶりの上昇となりました。

◇前年同月比(原指数)

生産は94.4(前年同月比▲16.3%)で11カ月連続の低下、出荷は101.2(同▲13.4%)で9カ月連続の低下、在庫は95.4(同▲10.5%)で8カ月連続の低下となりました。

●長野県鉱工業の生産・出荷・在庫指数(季節調整済)の推移

(2015年=100/資料：長野県)



- [生産] 上昇…はん用・生産用・業務用機械、電気機械、金属製品など7業種
低下…情報通信機械、化学、電子部品・デバイスなど9業種
- [出荷] 上昇…食料品、はん用・生産用・業務用機械、電気機械など11業種
低下…電子部品・デバイス、その他、窯業・土石製品など6業種
- [在庫] 上昇…電子部品・デバイス、その他、電気機械など7業種
低下…はん用・生産用・業務用機械、情報通信機械、食料品など9業種

月例調査

全産業の「売上高」は増加

前回調査 2020年6月

◇8月調査による[北信地区の経済状況]

全産業(不動産業・旅館業を除く)の売上高前年比「増加・減少」割合は、前回に比べ「増加」割合(21

%)が1ポイント減少、「減少」割合(57%)が3ポイント減少、「不変」割合(22%)は4ポイント増加、全体としては増加の状況です。

●売上高(生産高・施工高)前年比「増加・不変・減少」割合

矢印は前回調査比 (3ポイント以上の動き) ↗ 増加 → 不変 ↘ 減少
🔄 改善 ⇄ 不変 🔄 悪化

全産業

前回

今回

不動産業・旅館業を除く

21.9 →	17.9 →	60.2 →	→	202社 (回収率85.2%) 30人未満 75.7% 30人以上 24.3%
増加 → 21.2	不変 ↗ 21.7	減少 ↘ 57.1	↗	199社 (回収率84.0%) 30人未満 73.9% 30人以上 26.1%

製造業

21.2 →	12.1 →	66.7 →	→	67社 (回収率79.8%) 30人未満 64.2% 30人以上 35.8%
--------	--------	--------	---	--

建設業

31.1 ↗	34.5 ↗	34.4 ↘	↗	61社 (回収率85.9%) 30人未満 83.6% 30人以上 16.4%
--------	--------	--------	---	--

卸小売業

13.3 ↘	24.5 →	62.2 ↗	↘	45社 (回収率83.3%) 30人未満 84.4% 30人以上 15.6%
--------	--------	--------	---	--

サービス業

12.5 ↗	12.5 →	75.0 ↘	↗	8社 (回収率88.9%) 30人未満 75.0% 30人以上 25.0%
--------	--------	--------	---	---

輸送業

12.5 →	0.0 →	87.5 →	→	8社 (回収率80.0%) 30人未満 25.0% 30人以上 75.0%
--------	-------	--------	---	---

外食業

10.0 →	20.0 ↗	70.0 ↘	↗	10社 (回収率100.0%) 30人未満 70.0% 30人以上 30.0%
--------	--------	--------	---	---

製造業

食料品、金属加工品、一般機械、電気機械、自動車部品、精密機械

「生産高」食料品が増加するも、全体は減少

製造業の生産高前年比「増加・減少」割合は、前回に比べ「増加」割合(21%)が2割減少、「減少」割合(67%)が2割増加、「不変」割合(12%)が横ばいで、全体としては減少の状況です。

●生産高前年比「増加・減少」割合(%)

製造業	前回	23.1	12.3	64.6
	今回	増加 21.2	不変 12.1	減少 66.7
食料品		46.7	6.6	46.7
金属加工	8.3	8.4		83.3
一般機械	-0.0	10.0		90.0
電気機械	28.6	14.3		57.1
自動車部品	25.0	0.0		75.0
精密機械	-0.0	25.0		75.0

【業種別】 増加…食料品

横ばい…自動車部品

減少…金属加工・一般機械・電気機械・精密機械

【機械稼働】 (前回比) 稼働率 下降

上昇割合 (28%) → 20%

下降割合 (28%) → 30%

【受注状況】 受注量 (前回比) 下降

増加割合 (27%) → 17%

減少割合 (32%) → 32%

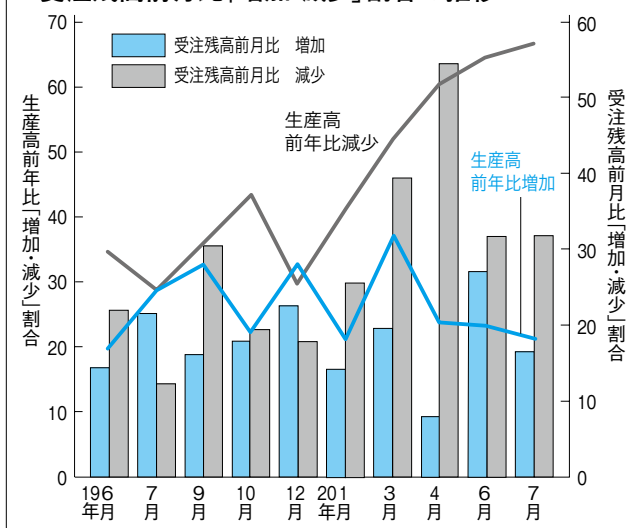
受注残高 (1.3カ月) → 1.4カ月

【受注基調】 (前回比) 上昇

上昇割合 (27%) → 20%

下降割合 (37%) → 26%

●生産高前年比「増加・減少」割合と受注残高前月比「増加・減少」割合の推移(%)資料:当金庫



企業からのコメント

☆再度の自粛傾向により、自宅で調理する乾ソバの受注が一気に増えた。(そば)

☆最近、取引先からLCD(液晶ディスプレイ)、有機ELの引き合いが増加している。(液晶関連装置)

★景気が戻らないため、業界全体の受注量が減少傾向。今後は、現状を維持しながら対策を練らなければならない。(段ボール)

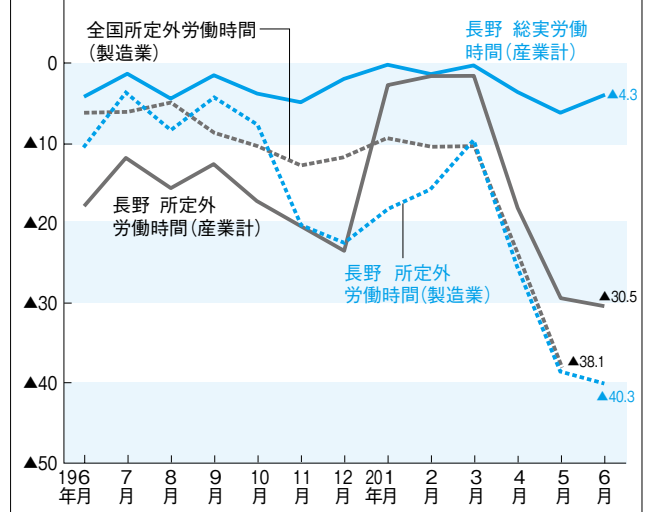
★土産品製造は壊滅、スーパー向け商品の製造は、品種により片寄りがある。自家用食材の需要はそれなりに好調。(漬物)

☆通信機器、パソコン関連は好調を維持。工作機器、制御盤関係は低調。(プリント基板)

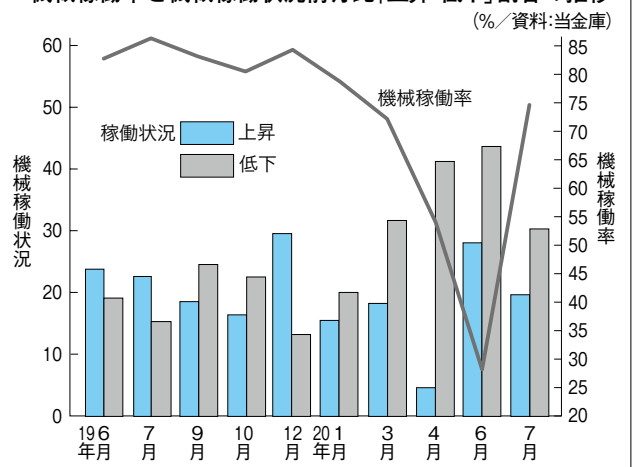
★国内向け家具、電子部品ともに鍋底状態で、先が見えない状況にある。(ロッカー・電子部品)

●長野県の労働時間の動き<前年同月比>

規模30人以上(%)資料:長野県・厚生労働省



●機械稼働率と機械稼働状況前月比「上昇・低下」割合の推移(%)資料:当金庫



建設業

総合建設、土木工事、建築、各種設備

「施工高」建築が減少するも、全体は増加

概 況

建設業の施工高前年比「増加・減少」割合は、前回に比べ「増加」割合(31%)が4ポイント増加、「減少」割合(34%)が14ポイント減少、「不変」割合(35%)が10ポイント増加し、全体としては増加の状況です。

●施工高前年比「増加・減少」割合(%)

建設業	前回	26.6	25.0	48.4
	今回	増加 31.1	不変 34.5	減少 34.4
総合建設業		44.4	33.4	22.2
土木工事業		33.3	33.4	33.3
建築業		21.1	42.1	36.8
各種設備業		33.3	33.4	33.3

【業種別】増加…総合建設・土木工事・各種設備

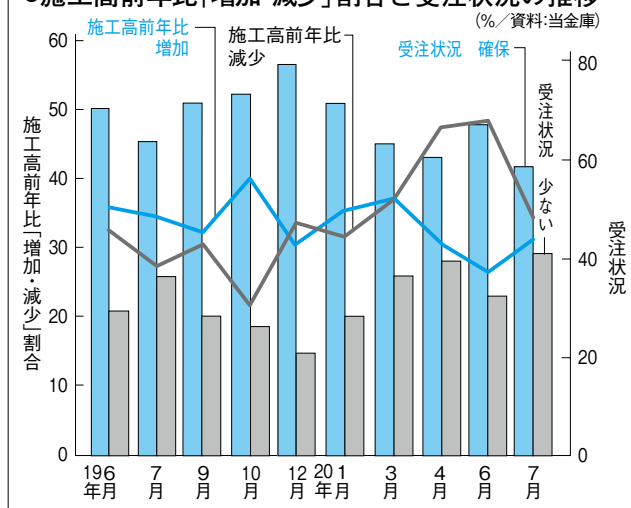
減少…建築

【受注状況】受注残高(前回比) 悪化

「多い・適正」割合 (67%) → 59%

「少ない」割合 (33%) → 41%

●施工高前年比「増加・減少」割合と受注状況の推移



企業からのコメント

- ★コロナ禍の影響による収入減少などの不安材料により、新築住宅建築の決断が鈍っている。(建設)
- ★新型コロナウイルスの影響で、営業活動の自粛をしており、秋以降の契約物件が減少している。(一般建築)
- ☆★大都市圏を中心にコロナ感染者の増加で、個人・企業の投資意欲の減退が懸念される。(内装工事)
- ★新型コロナウイルスの影響で、作業量が少なく、受注しても単価が安い。(鉄骨鉄筋)

4～7月の公共工事 (東日本建設業保証取扱分)

長野県の4～7月の発注合計は、1,347.7億円(前年同期比+42.4%)となりました。前年比プラスは「国」の247.9億円(同+39.9%)、「県」の416.5億円(同+40.2%)、「市町村」の360.5億円(同+26.6%)、「そのほか」の312.3億円(同+70.2%)で、マイナスはありませんでした。

北信地区市町村の発注合計は97.1億円(同+19.5%)で、うち長野市は51.5億円(同+41.6%)でした。

●建設業保証取扱分から見た長野県と北信地区市町村の公共工事の状況(2020年7月/2020年4月～7月累計)

(単位=百万円/資料: 東日本建設業保証㈱)

		2020年7月	前年同月比	2020年4月～7月	前年同月比
長野県	国	6,266	134.3%	24,785	39.9%
	県	6,786	▲18.7%	41,650	40.2%
	市町村	8,982	42.1%	36,051	26.6%
	そのほか	4,520	▲40.5%	31,233	70.2%
	合計	27,462	8.8%	134,765	42.4%
北信地区	市町村	2,208	31.9%	9,711	19.5%
	(内長野市)	1,164	29.4%	5,147	41.6%

4～7月の新設住宅着工戸数

長野県の4～7月の新設住宅着工戸数は4,283戸(前年同月比▲12.8%)でした。持家が2,349戸(同▲14.9%)、貸家が1,149戸(同▲11.3%)、分譲が556戸(同▲34.7%)、給与が229戸(同+5,625.0%)です。

北信地区の4～7月の新設住宅着工戸数は1,208戸(同▲16.3%)でした。持家が644戸(同▲19.4%)、貸家が339戸(同+2.4%)、分譲が213戸(同▲32.2%)、給与が12戸(同——)です。

●北信地区と長野県の新設住宅着工戸数(2020年7月/2020年4月～7月累計)

(資料: 長野県)

		持家	貸家	分譲	給与	合計
北信地区	7月	158戸	67戸	63戸	12戸	300戸
	(内長野市)	91戸	46戸	57戸	12戸	206戸
	前年同月比	▲13.7%	97.1%	▲32.3%	——	▲3.2%
	(内長野市)	▲12.5%	84.0%	▲27.8%	——	▲1.0%
	4～7月	644戸	339戸	213戸	12戸	1,208戸
長野県	前年同期比	▲19.4%	2.4%	▲32.2%	——	▲16.3%
	7月	587戸	209戸	134戸	63戸	993戸
	前年同月比	▲12.4%	▲41.5%	▲23.4%	皆増	▲17.4%
	4～7月	2,349戸	1,149戸	556戸	229戸	4,283戸
	前年同期比	▲14.9%	▲11.3%	▲34.7%	5,625.0%	▲12.8%

卸小売業

卸売業、小売業

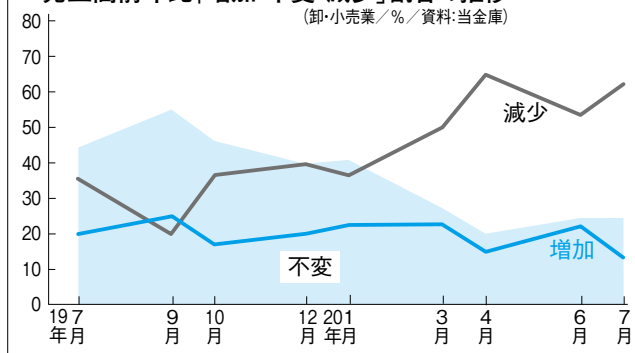
「売上高」卸売・小売ともに減少

卸小売業の売上高前年比「増加・減少」割合は、前回に比べ「増加」割合(13%)が9割減少し、「減少」割合(62%)が9割増加、「不変」割合(25%)が横ばいとなり、全体として売上は減少の状況です。

●売上高前年比「増加・減少」割合(%)

卸小売業	前回	22.2	24.5	53.3
	今回	増加 13.3	不変 24.5	減少 62.2
卸売業		23.8	28.6	47.6
小売業		42	20.8	75.0

●売上高前年比「増加・不変・減少」割合の推移 (卸・小売業/ % / 資料: 当金庫)



【業種別】減少…卸売業・小売業

7月の消費者物価指数(長野市) 2015年基準=100

◇総合指数(確報値)……103.2(2カ月連続のプラス)

(前月比+0.4%、前年同月比+0.8%)

上昇…「食料品」「交通・通信」「総合」「住居」

下落…「被服及び履物」「教育」「教養娯楽」

◇生鮮食品を除く総合指数…102.9(2カ月連続のプラス)

(前月比+0.1%、前年同月比+0.6%)

企業からのコメント

☆★卸売と通信販売は回復したが、観光客向けの仲見世の小売店は大幅にダウン。利幅がある分野だけに影響は大きい。(食料品)

★長雨の影響で作物が傷みやすく、クレームが後を絶たない。昨年の災害から今回のコロナと、観光土産としての青果物の納品が激減。(青果)

★コロナ禍による将来的収入の不安から、消費者の新車購入は慎重になっている。(自動車販売・修理)

★新型コロナウイルスの影響が大きい。食堂の収容数の半分以下しか使用できず…。(土産品・食堂)

サービス業

サービス、輸送、外食、観光、不動産

「売上高」サービス・外食はともに増加、運輸は横ばい

サービス業 売上高前年比「増加」割合は13割増加の13%、「減少」割合は13割減少の75%、「不変」割合は横ばいの13%と、売上は増加の状況です。

輸送業 売上高前年比「増加」割合は2割増加の13%、「減少」割合は1割減少の88%、「不変」割合は横ばいの0%と、売上は横ばいの状況。タクシーは横ばい、運輸は増加です。

外食業 売上高前年比「増加」割合は横ばいの10%、「減少」割合は2割減少の70%、「不変」割合は2割増加の20%と、売上は増加の状況です。

観光(旅館)業 入込数は平均で前月比271割の増加、前年同月比も69割の増加で、宿泊利用は伸びています。

不動産業 需給状況は前回に比べ、「双方手控え・どちらも低調」は31割増加の75%、「引合いやや増加」は22割減少の0%でした。

企業からのコメント

☆★長野駅は東京とつながっているため、タクシー利用動向はコロナ対策の政府の発言と連動している。

★全車に、アクリル製の「飛沫感染対策ボード」の設置を進めているが、商品の納入が9月以降になりそう。(以上タクシー)

★再オープンしたがコロナの感染拡大で、客の入り込みは非常に鈍い。(ホテル)

★テナントの退去が増加傾向にある。(不動産)

●売上高前年比「増加・減少」割合(%)

サービス業	前回	0.0	12.5	87.5
	今回	増加 12.5	不変 12.5	減少 75.0
輸送業	前回	11.1	0.0	88.9
	今回	12.5	0.0	87.5
うちタクシー業		0.0		100.0
うち運送業		20.0	0.0	80.0
外食業	前回	10.0	0.0	90.0
	今回	10.0	20.0	70.0

業界に変革をもたらすか 「**そう思う**」60% 「**思わない**」11% 「**わからない**」27%

いま一番必要な対策は何か 「**従業員の感染防止策**」39% 「**運転資金**」28%

「新型コロナウイルス感染症」の影響が「業界に変革をもたらす」と考えるか 「**そう思う**」と答えたのは6割、「**思わない**」は1割でした。

「新型コロナウイルス感染症」の対策として、いま一番必要なものは何か トップ3は、「従業員の感染防止策」「運転資金」「顧客との取引関係維持・回復」です。

業界に変革をもたらすか

	全体	30人未満	30人以上
「 そう思う 」	60%	60%	62%
「 思わない 」	11%	9%	18%
「 わからない 」	27%	30%	21%

「新型コロナウイルス感染症の影響が『業界に変革をもたらす』と考えるか」を聞きました。

「**そう思う**」と答えたのは6割、「**思わない**」は1割、「**わからない**」は3割弱(27%)でした。

従業員規模で比べると、30人未満は全体と比べ

「**思わない**」が-2割、「**わからない**」が+3割となりました。30人以上は同様に、「**そう思う**」が+2割、「**思わない**」が+7割、「**わからない**」が-7割となっています。

業種別

製造業 全体とほぼ同様

建設業 「**そう思う**」-10割 「**わからない**」+9割

卸小売業 「**そう思う**」+7割 「**思わない**」-4割

サービス業 「**そう思う**」+10割 「**わからない**」-9割

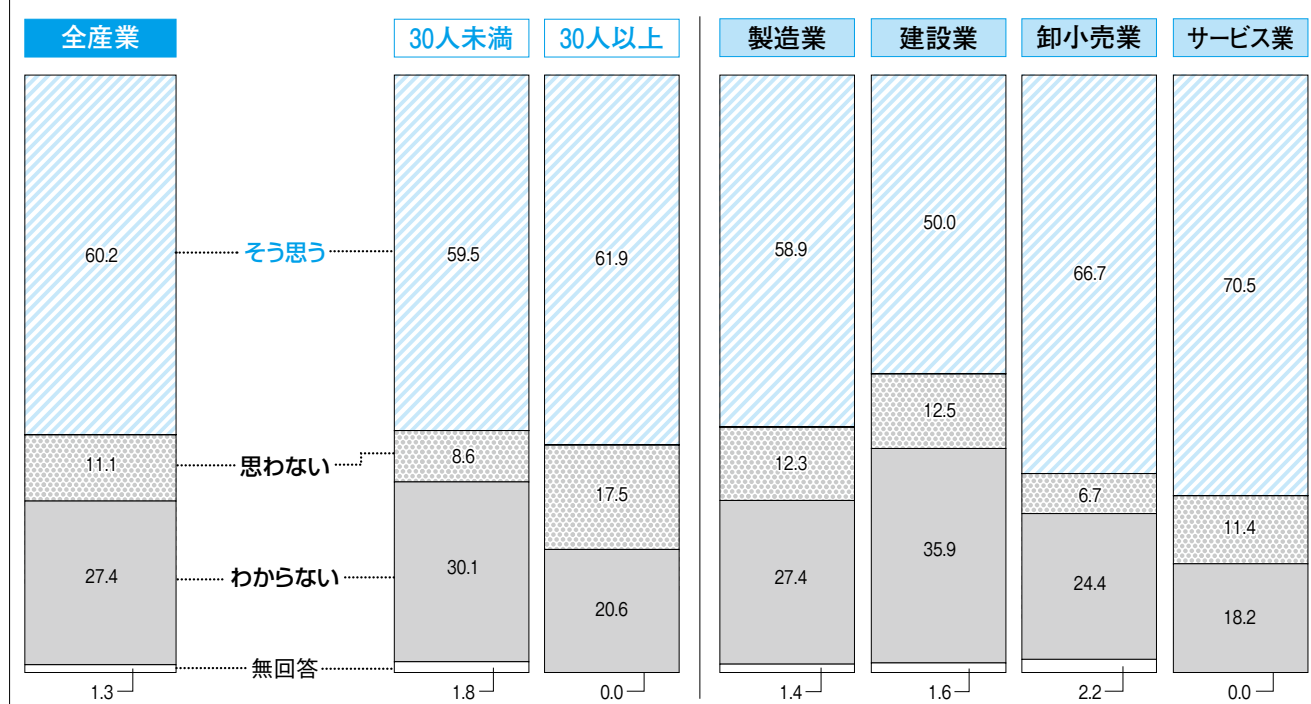
全体との比較を中心に見てみます。

製造業 「**そう思う**」が59%、「**思わない**」が12%、「**わからない**」が27%と、全体とほぼ同率です。

建設業 「**そう思う**」が-10割の50%、「**思わない**」が+2割の13%、「**わからない**」が+9割の36%となりました。

卸小売業 「**そう思う**」が+7割の67%、「**思わない**」が-4割の7%、「**わからない**」が-3割の24%です。

●新型コロナウイルス感染症の影響が「業界に変革をもたらす」と考えるか (%)



サービス業 「そう思う」が+11割の71%、「思わない」は同率の11%、「わからない」は-9割の18%となりました。

いま一番必要な対策は何か

従業員の感染防止策	39%
運転資金	28%
顧客との取引関係維持・回復	20%
原材料の調達先	4%
別になし	6%
その他	1%

「新型コロナウイルス感染症の対策として『いま一番必要なもの』は何か」を聞きました。

トップ3は、「従業員の感染防止策」(39%)、「運転資金」(28%)、「顧客との取引関係維持・回復」(20%)で、業種によって一部順位に違いはあるものの、いずれも2ケタを占めています。

従業員規模で比べると、30人未満は「従業員の感染防止策」と「運転資金」が全体よりそれぞれ-2割、「顧客との取引関係維持・回復」は+3割となっています。同様に30人以上は、「従業員の感染防止策」と「運転資金」がそれぞれ+5割、「顧客との取引関係維持・回復」は-8割、「原材料の調達先」は-2割となっています。

業種別

製造業	「運転資金」33% +5割
建設業	「従業員の感染防止策」52% +12割
卸小売業	「顧客との取引関係維持・回復」24% +4割
サービス業	「顧客との取引関係維持・回復」32% +11割

全体との比較を中心に見てみます。

製造業 順位は全体と同じですが、「従業員の感染防止策」(36%)は-4割、「運転資金」(33%)は+5割、「顧客との取引関係維持・回復」(18%)は-3割となりました。

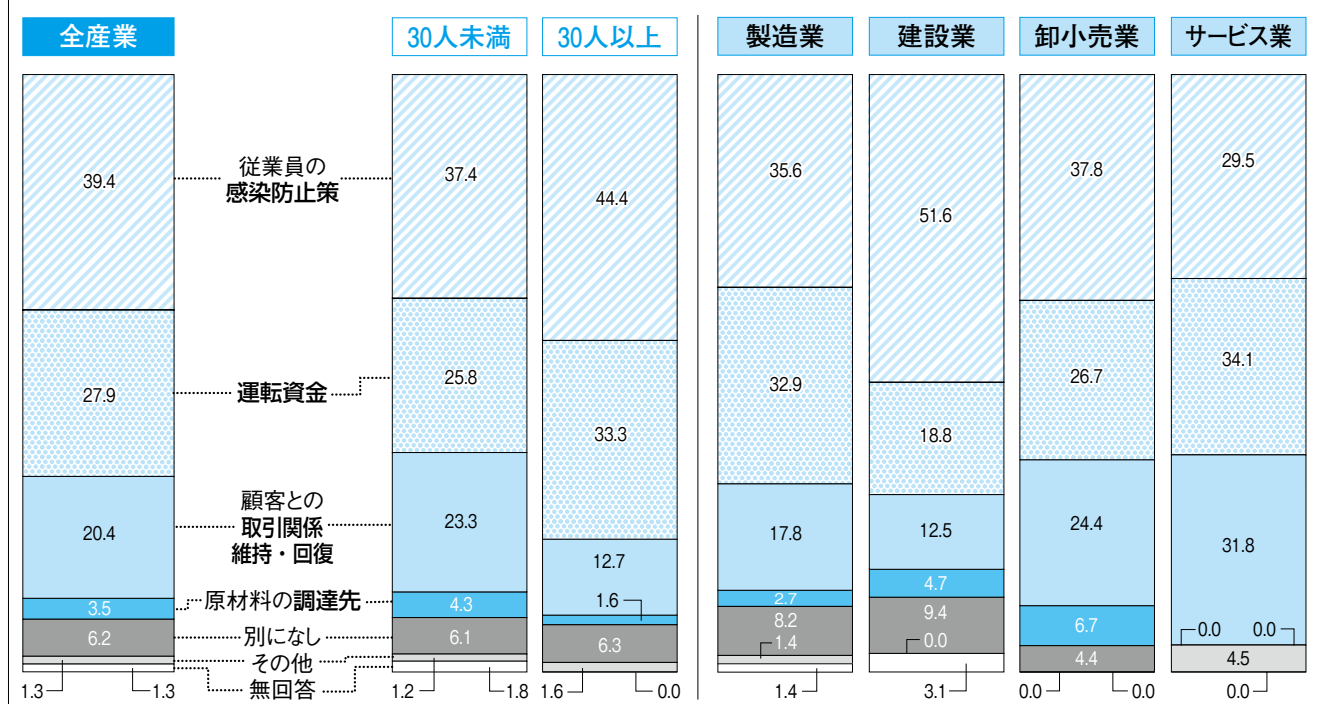
建設業 順位は全体と同じですが、「従業員の感染防止策」(52%)は+12割、「運転資金」(19%)は-9割、「顧客との取引関係維持・回復」(13%)は-8割となりました。

卸小売業 1位は「従業員の感染防止策」(38%)、2位は「運転資金」(27%)で、3位の「顧客との取引関係維持・回復」(24%)は+4割、4位の「原材料の調達先」(7%)は+3割となっています。

サービス業 全体と比べ順位に大きな変動があります。1位の「運転資金」(34%)は+6割、2位の「顧客との取引関係維持・回復」(32%)は+11割、3位の「従業員の感染防止策」(30%)は-10割となり順位が入れ替わっています。

◇次号は「新型コロナウイルス感染症の影響No.2」を予定

●新型コロナウイルス感染症の対策として「いま一番必要なもの」は何か (%)



インタビュー 変革期の経営ビジョン



『入力装置の専門メーカー』 として独自性を発揮していく

長野テクトロン株式会社
代表取締役社長 柳澤由英さま

●創業の経緯についてお聞きします…

私の父は、祖父が営んでいた塗装会社に入社し、将来的には会社を継承する道もあったのですが、電子機器を作るメーカーになりたいという強い思いがあって、同じ思いを抱いた社員8名と、1984(昭和59)年、篠ノ井塩崎に「長野テクトロン(株)」を創業したのが始まりです。

●事業の概要についてお聞きします…

創業当初は、基板の設計やスクリーン板などの製作を、5年後には、家電製品に使われているフィルム型の“メンブレンスイッチ”をカスタムで作る事業に参入し、キーボードのキートップの印刷を手がけました。

その後、外資系の手大コンピュータメーカーが日本国内でキーボードを製作する企業を探していた際、当社に白羽の矢が立ち、製造を全て当社に委託頂きました。月産約3万台を製作していましたが10年も経たずに生産が中国に移行してしまい、キーボード事業が一気に減ってしまいました。この逆境を打開すべく、技術を活かした「フィルム型スイッチ」と「キーボード」製作の二本柱で、当社の基盤を確立し現在に至っています。

国内でキーボードだけを製造しているメーカーは当社を含めて数社だけで、安定的な生産体制が評価されています。キーボードのほかにタッチパネルPCも扱っていますが、タッチパネルPC自体を一から製造するのは、設備投資が必要となるので、台湾で製造できるOEM先を探し、当社のブランドで作ってもらっています。

●社長になられた経緯をお聞きます…

私は大学卒業後、長野の手大電気機器製造会社に入社、4年経った際に、創業者である父から「そろそろ戻ってこないか」と言われ、2003(平成15)年に長野テクトロンに入社しました。幼少期からよく会社に連れて行ってもらい、将来的には自分が継ぐという意識を持っていたので、当然の流れのように決断できました。

入社後は、営業に配属され10年以上携わると同時に、ワンタッチでホームページを開くことができるオリジナル製品、「お気に入りキーボード」の販売を始め、全国のホテルにキーボードと端末を設置して、ワンタッチで周辺の飲食店が見られる「ホテぐる」の事業にも参入しました。自社サービスを展開するという面白さに触れ、新しいことにチャレンジする会社にしていきました。

2017(平成29)年に父が病気で亡くなり、私が社長に就任。現在は、営業から企画・設計・開発を経て、製造・品質保証からアフターサービスまでの一貫体制を構築する一方、営業活動や企画などの入口と、品質保証やアフターサービスの出口に重点を置き、長野テクトロンブランドで付加価値の高い製品やサービスを世の中に送り出すことを第一に取り組んでいます。この3年は“駆けぬけた”という感じです。今までは父親の援護射撃を受けながら前線で奮闘していましたが、今は自分で考えて動くようになり、このスタイルもとても充実しています。

●コロナ禍の影響や対応についてお聞きます…

リーマンショックの際も、製造業は遅れて影響が出てきたのですが、今回も6月になり、工業系や産業機器系企業用のキーボードやスイッチ類の生産量が減小し、逆にセルフレジ関係が忙しくなっています。

当社は、業界を選ばないものづくりや技術提供をしているので、やるべきことが見えています。伸びている業界にアプローチして売ってい

く、常にそういう戦略をとっています。一番重要なのは早めに状況を見極め、舵^{かじ}を切りながら営業や企画を実施していくことです。

直近では、新型コロナウイルスの影響で売上が減った飲食店を支援しようと、6月下旬にテ



本社外観



本社工場



ホテルおすすめ飲食店案内サービス『ホテぐる』

ークアウトやデリバリーが可能な、長野市内の飲食店の情報を紹介するサイト「TAKE OUTなの」を開設しました。

●今後の方針や展望について…

創業者の考えである「例がないからやってみよう、やらないと何も起こらないから」という言葉を当社の“企業理念”に掲げ、チャレンジ精神を大切にして、社員が成長することが取引先をはじめ、地域全体にも良い影響を及ぼすと考えています。父はメーカーになることを夢見て、長野テクトロンを創業しました。私はその夢を引継ぎ、「入力装置の専門メーカー」として、長年培ってきた製造ノウハウに加え、ハードウェアやソフトウェア、システムサービスを組み合わせたラインナップで、独自性を持ってより会社を大きくし、生き残れる企業を目指して行きます。

近年では、自社の製品やサービスにシナジーを持った事業や会社のM&Aも積極的に行い、既存事業を伸ばしながら、新しい周辺事業にもチャレンジしています。

●事業の概要

創 業 1984(昭和59)年
資 本 金 5,000万円
代 表 者 柳澤 由英
従業員数 70名(男30名・女40名)
業 務 製造業
事 業 所 長野市篠ノ井塩崎23040-1番地
U R L <http://www.nagateku.co.jp>

●沿革

1984(昭和59)年 長野市篠ノ井塩崎に創業
1989(平成元)年 メンブレンスイッチ、カスタムキーボードの製造を開始
2006(平成18)年 ワンタッチキーボード『お気に入りキーボード』の開発、販売
2008(平成20)年 ホテルおすすめぐるめ案内システム『ホテぐる』の運用開始
2012(平成24)年 タッチパネルパソコン『NT-POSシリーズ』をリリース
2019(令和元)年 デリバリーサイト『Maishoku』の運営を開始
2020(令和2)年 スーパー、薬局向けのセルフレジをリリース、量産を開始

北信濃 江戸時代の風景

(73) 伊能忠敬、青柳宿から稲荷山宿へ

長野郷土史研究会会長

小林 一郎



今年度は伊能忠敬の『測量日記』を読みながら、北信濃の伊能忠敬の足跡をたどります。また伊能忠敬が作成した「大日本沿海輿地全図」(大図)の該当部分を紹介します。

伊能忠敬の測量隊が、享和2年(1802)10月の第1回に引き続き、2回目に北信濃を測量したのは、12年後の文化11年(1814)のことでした。飛騨から野麦峠(松本市奈川)を越えて信州に入った一行は、藪原宿(木祖村藪原)から中山道に入りました。洗馬宿(塩尻市洗馬)から善光寺街道に入り、松本城下を経て青柳宿(筑北村坂北)に到着したのは4月27日(現在の暦で6月15日)でした。

伊能忠敬の『測量日記』より

4月28日(現在の暦で6月16日)

青柳宿から猿ヶ馬場峠まで

朝は曇っていましたが、四つ時(午前10時)から

晴れ。朝6時過ぎに青柳宿を出発、麻績宿(麻績村)では法善寺(信濃三十三観音札所第一番)までの距離を測量しました。麻績宿を出て市野川村上平(麻績村麻)で休憩。猿ヶ馬場峠には周囲が557間(約1013m)の湖があつて、茶屋が1軒あり、柏餅が名物です。

猿ヶ馬場峠より桑原村まで

ここからは更級郡で、松代藩領です。八幡村薄水から郡村中原(千曲市八幡)に下ると、ここは立場で茶屋があります。佐野川の3間の土橋を渡ると桑原村(千曲市桑原)で、ここも立場です。左側に口留番所があり、また左に30間ほど入った所に真言宗の佐野山長福寺(現在はない)があります。柳沢忠蔵宅で昼休み。

桑原村から稲荷山宿まで

ここから伊沢川(荏沢川)を渡り、治田神社の上の宮(桑原)を経て龍洞院(桑原)までを測量しまし

国立国会図書館蔵「大日本沿海輿地全図」(大図)より



た。桑原村の枝村の小坂村からは、3町ほど右の森の中に、治田神社の下宮(稲荷山)が見えました。桑原山龍洞院は曹洞宗で、遠州の可睡斎(静岡県袋井市)の末寺です。開基は桑原左近太夫で、左5町ほどの所にその居城だった古城跡があります。

街道にもどり、稲荷山宿に向かいます。稲荷山宿は上田藩領で、入口の新田町(治田町)

には八幡宮(武水別神社)への追分があります。宿所の八日市町(本八日町)へは八つ時(午後2時)に到着しました。宿は本陣と問屋を兼ねる松本完司宅で、夜に星を観測しました。

「大日本沿海輿地全図」(大図)を見る

猿ヶ馬場峠(右下)から稲荷山宿(左上)の部分です。左が北で、右が南です。伊能忠敬の測量隊が実際に歩いて測量した行路は、細い線で示されています。猿ヶ馬場峠と稲荷山宿を結ぶ線が北国西街道(善光寺街道)ですが、そこから脇に入った測量もしていることが分かります。

人家は「カ」か「サ」のようなマークで描かれています。街道に沿った「桑原村」や「稲荷山村」に多くの人家が建ち並んでいます。寺社は屋根が描かれています。

猿ヶ馬場峠から桑原村まで

「猿ヶ馬場峠」を過ぎると、「筑摩郡」と「更科郡」(更級郡)との境があります。長い山道を下って行くと、「郡村中原」(千曲市八幡中原)に出ます。日記にあるように、ここは茶屋などのある立場(たてば)になっていました。

中原を出ると街道は佐野川を渡り、左に折れ、また右に折れて、「桑原村」に入ります。続けて「真田弾正大弼」とあるのは、この村が松代藩領であることを示しています。周囲の八幡村や郡村も松代藩領です。



重要伝統的建造物群保存地区に指定されている千曲市稲荷山

桑原は^{あい}間の宿で、公式な宿場ではありませんが、猿ヶ馬場峠への登り口の宿場として栄えました。また松本藩領からの入口であるため、松代藩の口留番所が置かれていました。

寺院の屋根が描かれているのは、日記にいう佐野山長福寺でしょう。この寺は昭和37年(1962)に廃寺になっています。

桑原村から稲荷山宿まで

「桑原村」から左(北)に折れると、「治田神社」(上の宮)があります。「桑原村枝」の「小坂」を過ぎると、山際に曹洞宗の「竜洞院」があります。曹洞宗大本山永平寺の貫主(曹洞宗管長)に本年就任される南澤道人師は、この寺の出身です。

街道に戻ってしばらく行くと、「稲荷山村」に到着します。ここは「松平伊賀守」領(上田藩領)です。

伊能忠敬の測量データ(『大日本沿海実測録』より)

麻績宿～桑原村	2里16町32間半(約9659m)
桑原村～稲荷山新田町	14町39間(約1598m)
稲荷山新田町～同八日市町	3町30間(約382m)
	(1里=36町、1町=60間)
稲荷山宿の緯度	北緯36度32分

10月号は「伊能忠敬、稲荷山宿から善光寺宿へ」の予定です。

この頁は長野信用金庫のホームページでカラーにてご覧いただけます [長野信用金庫について](#)

情報収集の媒体は何か

1位「テレビ」89% 2位「新聞」64% 3位「インターネット」62%

「新聞」…50代以上と男性は2位

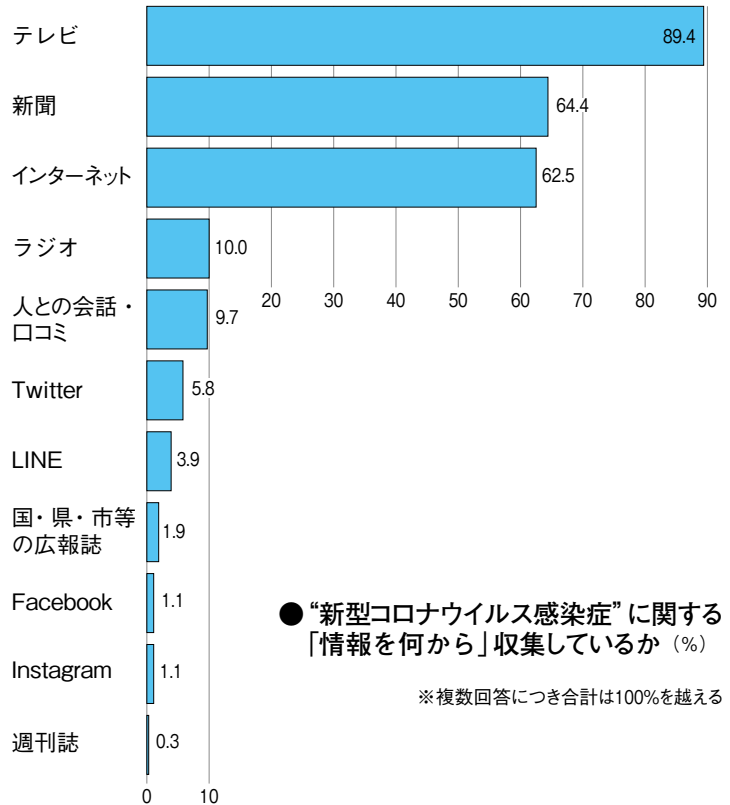
「インターネット」…10～20代・30～40代と女性は2位

「“新型コロナウイルス感染症”に関する情報を何から収集しているか」を聞きました。

トップ3の「テレビ」(89%)、「新聞」(64%)、「インターネット」(63%)に続いて「ラジオ」(10%)、「人との会話・口コミ」(9.7%)、「Twitter」(5.8%)、「LINE」(3.9%)、「国・県・市等の広報誌」(1.9%)、「Facebook」(1.1%)、「Instagram」(1.1%)、「週刊誌」(0.3%)となりました。

「テレビ」は、「世代別」「男女別」とともに1位となりました。「インターネット」は、「世代別」では10～20代(65%)と30～40代(72%)が2位、「男女別」では女性が2位ですが、50代以上(78%)と男性(70%)では「新聞」が2位となり、全体でも2位となっています。

〈当金庫・2020年6月調査〉



●みなさまの税務相談のご案内【10月】

(注)上の店名は開催場所、下の()内店名はその相談日に含まれる対象店です。

開催日	午前	午後	開催日	午前	午後
10月 6日 火	長池支店 (大豆島支店)		10月19日 月	権堂支店 (善光寺下支店)	川中島支店 (川中島駅前支店)
7日 水	稲荷山支店 (屋代支店)	上山田支店 (戸倉支店・坂城支店)	21日 水	篠ノ井支店 (川柳支店)	松代支店 (更北支店)
9日 金	若槻支店 (城北支店)	東長野支店 (柳原支店)	23日 金	大門町支店 (桜枝町支店)	飯綱支店
13日 火	須坂支店 (墨坂支店・太子町支店)	豊野支店	27日 火	本店営業部	古里支店 (吉田支店)
14日 水	中野支店 (小布施支店)	山ノ内支店 (飯山支店)	28日 水	本部	
16日 金	石堂支店 (伊勢宮支店)	七瀬支店 (南支店)	29日 木	本部	

●10月の「しんきん事業相談会」は10月7日(水)です



長野信用金庫 総合企画部

本店 〒380-8686 長野市居町 133-1 TEL 026-228-0221(代)

長野信用金庫 URL <http://www.nagano-shinkin.jp/>

